

メールマガジン「温カナ！news」は、脱炭素社会の実現に向けて、
脱炭素につながる取組を広めていくことを目指して、かながわ地球温暖化
防止活動支援コーナーが配信しています。

=====

☆ 目 次

■ ニュース・イベント情報

■ 神奈川県の環境教育に御支援いただきました！！

◇ 株式会社カネダ様

◇ JFEスチール株式会社様

◇ 積水ハウス株式会社様

■ お知らせ

=====

■ ニュース・イベント情報

～県内を中心とした脱炭素に関する情報を紹介します～

=====

< ニュース >

◆ 「かながわ脱炭素アクションフォーラム」アーカイブ動画を公開中！

1 月 11 日（土曜日）に神奈川県が実施した「かながわ脱炭素アクション
フォーラム」のアーカイブ動画を YouTube の県公式チャンネル「かなチャン TV
サブチャンネル」に公開しています。

ぜひ、下記 URL からご覧ください。

【アーカイブ動画公開ページ URL】

1 オープニングステージ

<https://www.youtube.com/watch?v=jZaUifD42aw>

2 事例報告

<https://www.youtube.com/watch?v=CibXwTy3ThQ>

3 脱炭素セミナー

https://www.youtube.com/watch?v=H_K8cuU1ZMM

4 基調講演

<https://www.youtube.com/watch?v=FpRhstytfPA8>

5 パネルディスカッション

<https://www.youtube.com/watch?v=m2K0EBXC0kQ>

6 第1回かながわ脱炭素大賞表彰式

<https://www.youtube.com/watch?v=dwiB0gy4gqE>

イベント詳細は県 HP をご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/2024forum.html>

◆「くらしの10年ロードマップ」の取組実践状況に関する消費者アンケート調査（第2回）の概要

環境省では、企業・自治体・団体等が参画する官民連携協議会（デコ活応援団）において、昨年「くらしの10年ロードマップ」を策定しました。本ロードマップの進捗把握のため、消費者の取組実施状況に関するアンケート調査（第2回）を実施し、その結果をまとめました。

<https://www.env.go.jp/content/000300408.pdf>

◆「工場・事業場における脱炭素セミナー」の講演動画を公開中

（一財）省エネルギーセンターが、1月30日に開催した環境省主催「工場・事業場における脱炭素セミナー」の講演動画を公開中です。（無料）

https://www.youtube.com/watch?v=Xr6JG2-M9uQ&list=PL5S16SrKILNRZ8YLDdH5QuysG-v9_nCPR

◆横浜市庁舎とみなとみらい地区のビル群が地域一体でのデマンドレスポンス（節電）に取り組めます！

2027年度容量市場※1に参加し、地域一体でデマンドレスポンス※2に取り組む、約2,000kWを創出する見込みです。

※1 容量市場：将来必要な電源を確保することで、電力供給を安定化させることを目指し開設された市場。

※2 デマンドレスポンス：電力の需要が供給を上回ると見込まれる際などに、電力会社からの要請を受け、施設（需要側）で節電等を行う、需要と供給のバランスを整える。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2024/0313mmdr.files/mmdr.pdf>

◆地球全体の二酸化炭素濃度の年増加量が過去 14 年間で最大に
～いぶき（GOSAT）による 2024 年の観測速報～

国立環境研究所、環境省、JAXA は、温室効果ガスを観測する人工衛星（GOSAT シリーズ）の 1 号機である「いぶき」（GOSAT）の観測より、二酸化炭素濃度の 2023 年から 2024 年にかけての年増加量が 2011 年以降の 14 年間で最大の 3.5ppm/年になったと発表しました

<https://www.nies.go.jp/whatsnew/2025/20250206/20250206.html>

◆出光興産（株）、国内初 2MW の次世代営農型太陽光発電所を建設

この太陽光発電システムは、太陽の動きに合わせて自動的に太陽光パネルの向きを調整することにより、耕作期間にはパネル下で栽培する農作物への日射量を最大化し、農作に適した環境を維持します。また、休耕期間にはパネルへの日射量を最大化し、太陽光パネルの裏面でも発電することで、通年で日当たりのよい広い土地の発電設備と同等の発電量を確保します。

<https://www.idemitsu.com/jp/news/2024/250228.pdf>

◆三井不動産（株）及び ENEOS 不動産（株）、横浜市にスマートエネルギー倉庫竣工

三井不動産（株）と ENEOS 不動産（株）は、横浜市に約 2,000kW の太陽光パネルと約 2,600kWh の大型蓄電池を備えたスマートエネルギー倉庫を竣工しました。三菱重工業エンジン&ターボチャージャ株式会社の制御システムマイクログリッドコントローラー「COORDY」を実装し、系統電力・太陽光発電・蓄電池の 3 種類の電源を最適制御することで、約 40% の CO2 削減が見込まれています。

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/news/2025/0303/>

◆マツダ（株）、全量バイオマス燃料での実証操業を実施

マツダ（株）は、鋳造の基盤設備であるキューポラ溶解炉で使用する燃料をバイオマス燃料であるヤシ殻のバイオ成型炭に全量転換する実証実験を実施し、安定的な操業が確認できたことを発表しました。今後、地域連携の輪を拡げ、2030 年度までにバイオマス廃棄物由来の燃料によるキューポラのカーボンニュートラル操業を目指します。

<https://newsroom.mazda.com/ja/publicity/release/2025/202502/250227b.html>

◆コスモエネルギーグループ、2025 年度より国内エアライン向けに国 SAF（持続可能な航空燃料）を供給

2025 年度以降、原料となる廃食用油の調達から、SAF の製造・品質管理、航空会社への供給に至るまでのすべての SAF サプライチェーンの構築を国内で実現します。これは国内で初めての取り組みです。

<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2025/250127-01.html>

◆丸紅ケミックス（株）、廃棄物を有効活用し、プラスチック使用量の削減を目指すコンソーシアム『Do What We Can』設立を発表

このコンソーシアムは持続可能な社会の実現に向けて、コンソーシアム参加企業がそれぞれの強みを活かし、一社では解決が困難な課題に協力して取り組むことを目的としています。

<https://www.marubenicemix.co.jp/media/2025/03/07/118>

◆ユニ・チャーム（株）、使用済み紙パンツ（紙おむつ）の全ての素材を活用できる技術を構築

ユニ・チャーム（株）は、鹿児島県志布志市と大崎町で、使用済み紙パンツをリサイクルした高分子吸収剤を原材料の一部に使用した『デオサンド香りで消臭する紙砂 RefF（リーフ）』を発売しました。

<https://www.unicharm.co.jp/ja/company/news/2025/0313-01.html>

<イベント>

※天候や主催者側の都合等により、イベントが中止になる場合もありますので、イベント実施の有無については、各イベントのホームページまで随時御確認ください。

◆ガーデンネックレス横浜 2025

日時：3 月 19 日（水曜日）～ 6 月 15 日（日曜日）

場所：みなとエリア、里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）

主催：横浜市

https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kochi/press/kankyo/2024/garden20250319.files/0002_20250313.pdf

◆◆常に最高の技術をもって社会に貢献します。◆◆

[illegible]